

ステップアップ研修会

「女性ならではの防災を考える」あしあと

と き 8月26日(土) 午後13時30分~15時30分

ところ 生涯学習センター203号室

講 師 山口 由美子さん(かにNPOセンター事務局長、防災士)

参加者 12名



山口由美子さんを講師にお招きし、防災についていろいろな観点から学び、考えさせられる貴重な2時間でした。

災害が起きたら→まずは命が助かること!! 自分で自分を守ること!!

重要 自宅を安全な場所にする。間取り図を描いて確認する。

発災時の家族の動きをシミュレーションしておく。

避難場所や避難経路を家族で確認しておく。

○災害発生による女性の死者が多い(直接死、関連死とも女性が多い)

○備蓄・非常用持ち出し品(最低限必要なものを取り出しやすいところに)

○要配慮者の介助→女性になりがち

○トイレ問題

○食事問題 アレルギーは生死に関わる

○避難所で起こる問題



まず生き残る!!そのために家族と話し合い、確認し合い、十分な備えをする。防災訓練等に女性も参加し、備蓄品に女性の意見を取り入れる。防災対策に何が必要なのか、女性ならではの視点を入れることで、誰も排除されない居心地の良い環境を作ることができるということを教えてもらいました。

アンケートより

- 日常生活の中の危険やリスクを除いておくことや、心がけておくことの重要性がわかりました。男の人まかせではいけませんね。細かい点に気づく女の人のパワーが大事!!
- 子どもが生まれて、防災について考えようと思い、本日参加しました。防災は家庭に合った物を用意しなくてはならないとわかりました。早速用意しておこうと思います。具体的な話が聞けてとても参考になりました。
- 大きな災害が起きた後は、備蓄などいろいろ考えますが、時間が経つと、ついおろそかになってしまいます。この機会にまた見直してみたいと思います。
- 細かな具体例を上げてのお話で、改めて反省しています。家族ともう一度確認して、防災について考えてみます。
- 他人事だと思わないで、いつ起きるか分からない災害に備えて、自分でできることをやっておきたいと思いました。防災について、わかりやすくお話しいただき、考えるきっかけになりました。
- より具体的な話が聞けて良かった。いかに自分たちが、深く想定していないかということを実感した。